

(7) HIV感染者等の人権

AIDS (エイズ)	Acquired	後天性
	Immuno	免疫
	Deficiency	不全
	Syndrome	症候群

はじめに

エイズとは、HIV (Human (人) Immunodeficiency (免疫不全) Virus (ウイルス=エイズウイルス)) に感染して起こる病気で、日本語では、後天性免疫不全症候群と言います。

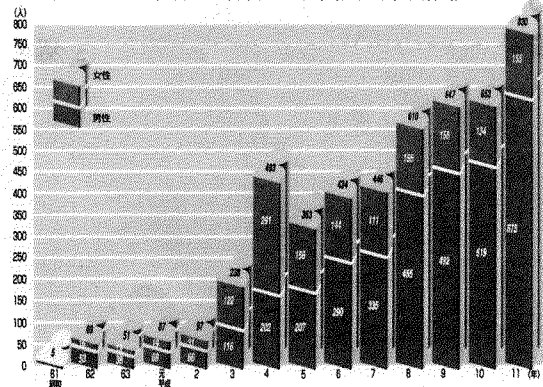
HIVに感染すると、私たちの体を守っている免疫機能(抵抗力)が少しずつこわれ、体内外の病原菌とたたかえなくなることにより、さまざまな感染症にかかりやすくなります。しかし、現在では抗ウイルス剤など免疫機能を下げないように保つ薬が開発され、HIVキャリアとして、エイズを発症せずに長く生き抜けるようになりました。

ところが、薬を使用できる医療機関のない地域では、感染後発症をおさえられず、免疫不全によるエイズと呼ばれる重い病気になり死にいたる人々が増えている現実があります。

HIV感染者やエイズ患者は、昭和56年(1981年)にアメリカで初めて発見されて以来、世界中で確実に増えています。

平成12年11月現在、届出数だけでも世界中で230万人を超え、推定患者数・感染者数を合わせると、3,610万人と報じられています。また、わが国では、昭和60年('85年)3月に最初のエイズ患者が報告されて以来、その後も増加傾向が見られ、平成11年末現在の患者・感染者数は、累積では5,029人にもものぼります。(平成11年届出数：830人)これはあくまで抗体検査を受けた人たちの結果です。ほとんどの人は感染の有無を調べたことがないのが現状です。特に、若い人たちに対し正しい知識や情報がおくられておらず、性行為による感染が増加しています。また、この病気が報じられてから、世界各地においてHIV感染者やその家族が、

わが国のHIV感染者(患者含む)届出数の年次推移

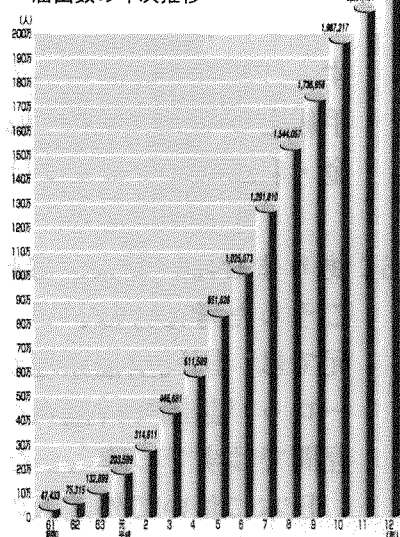


(資料) 厚生省エイズ動向委員会

誤った認識や偏見によって厳しい差別を受けてきた事実があります。

このような現象はハンセン病、病原性大腸菌O-157等においても同様なことが起こっています。どんな病気も、まずは、病者の人権が守られた上で行動しなければなりません。病気を正しく理解することは、自らの身を守ることであり、共に生きる社会づくりの基盤となるのです。

●世界のエイズ患者届出数の年次推移



(資料) WHO (世界保健機構) 統計